



喜多流大島能楽堂

KITARYU OSHIMA

能
夕顔
狩野 了一

狂言 口真似 茂山 あきら

2025.
11.16日
12:30開演

能
一角仙人
大島 輝久

主な出演者紹介

狩野 了一



能楽師 シテ方喜多流職分
重要無形文化財保持者(総合認定)
1967年生 東京都在住

大島 輝久



能楽師 シテ方喜多流
重要無形文化財保持者(総合認定)
1976年生 東京都在住(福山市出身)

大島 伊織



大島輝久の長男
2008年生 東京都在住

宝生 欣哉



能楽師 ワキ方下掛宝生流家元
重要無形文化財保持者(各個認定)
1967年生 東京都在住

森田 保美



能楽師 笛方森田流
重要無形文化財保持者(総合認定)
1963年生 京都府在住

飯田 清一



能楽師 小鼓方幸流
重要無形文化財保持者(総合認定)
1960年生 東京都在住

亀井 洋佑



能楽師 大鼓方葛野流
亀井忠雄、亀井広忠に師事
1990年生 東京都在住

林 雄一郎



能楽師 太鼓方観世流
故観世元伯師に師事
1981年生 東京都在住

茂山 あきら



能楽師 狂言方大蔵流
重要無形文化財保持者(総合認定)
1952年生 京都府在住

茂山 宗彦



能楽師 狂言方大蔵流
重要無形文化財保持者(総合認定)
1975年生 京都府在住

島田 洋海



能楽師 狂言方大蔵流
1976年生 京都府在住

ご挨拶

1958年(昭和33年)、能楽研鑽の場として能大島家三代目・大島久見(1915~2004)が四国・松山の金子五郎師と共に、この福山の地で年4回の定期能を立ち上げました。当初は、見所の皆様と共に能楽を学び深めたいと「能楽教室」と命名していました。(節目の年には、喜多流御宗家や能楽界の重鎮を招聘しての別会も度々催しています。)その志を受け継ぎ、現在は「大島能楽堂定期公演」として能楽の普及、継承に努めています。皆様の今後益々のご支援、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。ご高覧を心よりお待ち申し上げます。

催主:大島政允 大島輝久 大島衣恵

2026年 大島能楽堂定期公演 日程

第286回 3月15日(日)

能「雲林院」…… 狩野 了一
能「隅田川」…… 大島 衣恵

第287回 6月21日(日)

能「通小町」…金子 敬一郎
能「国 栖」…… 大島 輝久

第288回 9月20日(日)

能「鬼界島」…… 長島 茂
能「紅葉狩」…… 大島 衣恵

第289回 11月15日(日)

能「望 月」…… 大島 輝久

第285回 大島能楽堂定期公演

主催 ■ (有) 榎木端

鑑賞券

- 一般券…………… 6,000円
- 学生券(25才まで)……… 2,000円
- 4枚綴優待券…………… 20,000円

年4回公演のチケットを一括でお求めになると¥4,000お得です。複数でのご利用にもお使いいただけます。

座席
指定料
2,000円
(希望者)

●チケットお申込み／喜多流大島能楽堂
WEB：右記QRコードから
MAIL：osimano@orange.ocn.ne.jp
TEL：084-923-2633(10:00~13:00不定休)
FAX：084-923-2633

●チケットはご購入確認後にお送りします
振込先：銀行名／ゆうちょ銀行
店 番／139
口座番号／当座 0013844

●公演中止以外のチケット払戻しはいたしかねます。



チケットWEB申込



チケットぴあ

喜多流大島能楽堂

広島県 福山市 光南町2-2-2

TEL.084-923-2633

FAX.084-923-2633

osimano@orange.ocn.ne.jp

www.noh-oshima.com



後援
広島県教育委員会
福山市
福山文化連盟

福山駅	
郵便局●	国道2号線
中国銀行●	●広島銀行
セブンイレブン●	●ローズコム
	●商工中金
	●サイクルベースあさひ
	●塩崎歯科
ジョリーバスター●	◎喜多流
ファミリーマート●	大島能楽堂
	●広島信用金庫

福山駅より徒歩15分 バス停「商工中金前」



令和七年第四回(通算二八五回)
大島能楽堂定期公演

十一月十六日(日)十二時半始
喜多流大島能楽堂

解説

シテ(後・夕顔の上の霊)
前・女 狩野了一

能 夕 顔

ワキ(旅僧) 宝生 欣哉
ワキツレ(従僧) 宝生 朝哉

間(所の者) 山下守之

大鼓 亀井 洋佑
小鼓 飯田 清一

笛 森田 保美

休憩十五分

狂言

口真似

シテ(太郎冠者) 茂山あきら

アド(主人) 茂山 宗彦
アド(客人) 島田 洋海

後見 山下守之

休憩十分

解説

子方(龍神) 荒木 七海
子方(龍神) 佐々木美緒
シテツレ(旋陀夫人) 大島 伊織

シテ(一角仙人) 大島 輝久

能 一角仙人

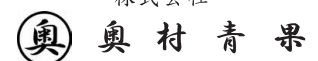
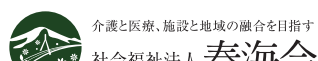
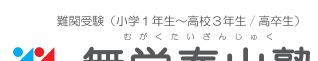
ワキ(官人) 宝生 欣哉
ワキツレ(興昇) 宝生 尚哉
ワキツレ(興昇) 小林 努

大鼓 亀井 洋佑
小鼓 飯田 清一

太鼓 林雄一郎
笛 森田 保美

付祝言

終了予定 四時半頃

 福山市神村町 3550-1 TEL 084-934-6615	 尾道市新浜 1-8-22 TEL 0848-23-4562
 福山市赤坂町赤坂1276 TEL 084-952-4000	 SRホールディングス
 広島市安芸区船越南 5-1-1 TEL 082-822-5566	 福山市曙町 1-3-17 TEL 084-953-1650
 福山市大門町 5-6-3 5 TEL 084-941-3111	 福山市霞町1-1-1 福山信愛ビル8F TEL 084-922-1537
 福山市卸町4-15 TEL 084-953-6116	 広島市西区商工センター 8-9-30 TEL 082-277-5021
 福山市田尻町 4115 TEL 084-983-5888	 広島市南区大洲 4-10-11 TEL 082-286-2328
 福山市曙町 6-11-8 TEL 084-953-4318	 福山市草戸町 1-23-21 TEL 084-921-2751
 福山市川口町 2-3-4 TEL 084-953-0343	 福山市宝町 5-32 TEL 084-923-0385
 TEL 084-955-8624	 ロアール元町店 TEL 084-932-2633

夕 顔

ゆうがお

豊後の国から来た旅の僧が、都の寺社参詣の途中、五条あたりで荒れ果てた屋敷に立ち寄ります。すると女の声がして「山の端の心も知らで行く月は上の空にて影や絶えなん」と和歌を吟じます。

現れた女は、ここが源氏物語にある「何某の院」つまり河原の院だと教えます。夕顔の上の光源氏との恋と、この場所での最期について語ると、姿を消します。その夜、僧が法華経を唱えて弔うと、夕顔の上の霊が現れます。昔を思つて舞い、成仏を遂げて、明け方の空に消えるのです。

物寂しい廃園を舞台に、夕顔の上の哀れで儚い運命を描き出した、趣深い作品です。



口真似

くらまね

良い酒をもらった主人は、太郎冠者に、一緒に飲む相手を連れてくるよう命じます。すると、酒乱で有名な男を連れてきます。

困った主人は、うまくあしらつて帰すことにし、太郎冠者に、自分のする通りにふるまうよう命じます。太郎冠者が主人の命令をそのまま客に繰り返すので、酒宴は混乱していきます。

一角仙人

いっかくせんになん

インドの婆羅奈国に、鹿から生まれたために、額に一本の牡鹿の角を生やした仙人がいました。仙人が龍神と争つて岩屋に閉じ込めたせいで、数年間も雨が降らないため、帝王は策を練り、旋陀夫人という絶世の美女を、仙人の住む深山に遣わします。

夫人は道に迷つた旅人を装つて宿を借り、持参した酒を勧めます。仙人は、次第に誘惑に負け、酒を飲んで共に舞い、酔いつぶれて眠り込みます。夫人は役目を果たして山を下ります。

すると岩屋が鳴動して砕け散り、龍神たちが飛び出して襲いかかります。

仙人は応戦しますが、酒色に堕ちたために神通力を失つており、力尽きます。龍神は雲を起こし、激しい雷雨を降らせながら龍宮へ飛び帰ります。

妖艶な相舞や、岩が割れて子方が飛び出す演出など、見せ場の多い楽しい曲です。

